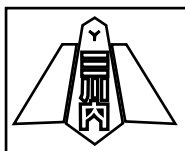


学校だより

あったか三川内



令和3年 10月15日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【実りの秋から充実と鍛えの冬へ・・・そして、次年度に向かって】

2学期制最後の後期が始まりました。始業式には、先日お知らせしました5名の子どもたちが、決意あふれる発表をしました。私の方からは、①自分に自信をもとう。②「あったか挨拶」を広げよう。③手洗い・消毒を続けよう。の3つのお話をしました。（裏面に全文を載せています）

職員同士でも、後期の指導方針を確認しました。学校教育においては、学習指導や生活指導、道徳教育・人権教育やICT教育など、多岐にわたる指導・支援を行い、本校教育目標である「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」を目指しています。その中でも特に後期は、①学力向上 ②あったか挨拶の励行 ③個に応じた指導の充実の3点を重点的に指導してまいります。

【学力向上】については、子どもたちに付けたい力を明確にした授業改善を行い、知識・技能の確実な習得と思考・判断・表現力等の育成を目指します。さらに、朝のスキルタイムや家庭学習等において、過去の全国学力・県学力テスト等で出題された問題プリント「ゆめあこ」や既存の学習プリントに取り組みせ、読解力や課題の捉え方・考え方を磨き、課題解決力の向上を目指します。予測困難な時代、グローバル化やICT技術革新がさらに進歩する時代を生き抜く子どもたちにとっては、身に付けておかなければならない力です。また、タブレットを使った学習（eライブラリ等）にも引き続き取り組んでまいります。低学年においては、読み・書き・計算の基礎基本を重視し、学習内容の定着を図ります。

家庭学習においては、家庭での学習（決まった時間帯や学習時間）習慣を身に付けさせ、担任より出される宿題や課題、自主学習などに確実に取り組ませてください。学校と家庭とが力を合わせ、粘り強く取り組ませることで、「分からないことが分かるようになってきた。」「できるようになってきた。」の充実感を子どもたちに味わわせ、一人一人に「やればできる」との自信を付けさせていきたいと考えます。

【あったか挨拶】については、「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」など、校内での挨拶はよくできています。毎朝、「あったか委員会」が教室を回り、あったか挨拶を呼びかけています。しかし、学校を出た地域では、この「あったか挨拶」ができていないことが多いようです。いつでも、どこでも、誰にでも自分から挨拶をする。教師自ら手本を示し、学級・学年・全校集団下校時など、常に挨拶指導をしてまいります。ご家庭でも、「ただいま。」「いただきます。」「ごちそうさま。」「おやすみなさい。」「行ってきます。」などの、基本的な挨拶のご指導をよろしくお願いいたします。

【個に応じた指導の充実】については、前期同様に、一人一人に目を向け、子どもに寄り添い粘り強い関わり（褒める・励ます・叱る・聞く・そして導く）を基本とした指導を重ねてまいります。また、後期は、当該学年の仕上げと同時に、次年度へ向かう準備をする大切な学期となりますので、子どもたちの将来のことを考え、厳しく指導をする時もあります。

子どもたちの示すサインは日によって違います。元気な時もあれば、そうでない時もあります。友達とのトラブルがあったり、学習に集中できない時があったりします。また、夜更かしで生活のリズムを崩し寝不足だったり、宿題をしていないことを気にして学校に行きたくなかったりするなど様々です。気になるこどもへの目配り・気配り・心配りを行い、適切な対応や指導・支援を心がけてまいります。

これからも、子どもたちの健やか成長のために、ご家庭との連携を図りながら進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【後期始業式での話】（約5分）

三川内っ子の良い子のみなさん、おはようございます。今日から後期の学習が始まります。この前期・後期の2学期制は今年で終わりになり、来年からは3学期制となります。つまり、今回が最後の後期の学習となります。みなさんは、最後の後期をどのように過ごしますか？

校長先生は、前期を振り返って皆さんにお願いしたいことが3つあります。

●1つ目は、【自分に自信をもとう！】です。

何かをしようとする時「え〜。」とか、「どうせしたったちゃ、できんもん。」、「したくないな〜。」など、思う時がありませんか。そうではなく、「よ〜し！」とか「やってみるか。」「頑張ってみよう。」など、「やる気」「勇気」「元気」を出して、生活してほしいのです。

それぞれ、自分の得意なことがあります。運動が得意な人、読書が好きな人、算数が得意な人などなど、自分の得意なことには一生懸命取り組んでください。反対に、苦手なこともあるでしょう。「漢字を書くのが嫌だな。」「字を読むのが苦手だな。」「計算がめんどくさいな。」などなど、しかし、その苦手なことにでも「やる気」「勇気」「元気」を出して、「よ〜し。」と挑戦してほしいのです。「やればできる！」皆さんは、無限の可能性をもっています。自分の弱い所を打ち破って、「やった、できたぞ。」「分かるようになってきたぞ。」など、自分に自信を付けて輝いてください。

●2つ目は、【「あったかあいさつ」を広げよう！】です。

「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」など、学校内では、自分から進んでさわやかな挨拶をできる人が多くなってきました。これも、「あったか委員会」の皆さんが、毎日、挨拶をするように呼びかけているからだと思います。「あったか委員会」のみなさんありがとうございます。しかし、地域や保護者の方からは、「もっと挨拶をしてほしいなあ。」「せっかく挨拶をしたに、返事が返ってこない。」などの感想をいただいています。学校では、すばらしい挨拶ができているのに少し残念だな、みんな、頑張って挨拶ができているのに悔しいなあと思っています。

ですから、学校以外の、家の周りや登校中で出会う保護者や地域の方々、下校するときにすれ違う地域の方々に、元気な「あったか挨拶」を広げてください。そして、三川内っ子は、元気な挨拶ができますね。と、ほめてもらいましょう。

●3つ目は、【「手洗い」「消毒」を続けよう！】です。

前期後半は、朝学校に来たら、手洗い場で石鹸を付けて手を洗いましたね。そして、教室に入る時は、消毒もしました。これは、コロナ感染がひどいときだけではなく、そうでない時もする必要があります。皆さんは、学校から家に帰ったら、【当たり前】のように晩ご飯をたべますね。それと同じように「手洗い」「消毒」も、【当たり前】になってほしいのです。いつ、またコロナがひどくなるかもしれません。日頃から、自分に「手洗い」「消毒」の【当たり前】が身に付いていると、自分の健康を守ることにつながって行くのです。

さあ、三川内っ子の良い子のみなさん！ 後期も、あったかな心をもち「やる気」「勇気」「元気」を出しながら、楽しく明るく頑張って行きましょう！！

これで、校長先生の話が終わります。